

## 令和3年度「歯科保健関係者研修会」（オンライン配信）実施要領

1. 目的： 県民歯と口の健康プラン推進のため、歯科保健事業や歯科保健活動に従事する指導者や職員の歯科保健に関する正しい理解を深める。
2. 主催： 富山県・富山県歯科医師会
3. 後援： 富山県教育委員会・富山県学校保健会
4. 日時： 令和3年8月26日（木）PM1：30～4：00 予定
5. 受講方法： ①オンライン配信  
(選択) **※感染対策として密を避けるため、出来るだけオンライン配信をご活用ください。**  
②会場受講（オンライン受講が難しい方）  
富山県歯科医師会館（富山市五福字五味原2741-2）  
**※ご来館の際は、マスクの着用をお願いします。**
6. 対象者： 歯科医師、歯科衛生士、市町村・厚生センター職員（保健師、栄養士）  
養護教諭、その他地域歯科保健活動に従事している者
7. 研修：  
【テーマ】 「学校での新しい生活様式」と新学習指導要領に基づく歯科保健の進め方  
【講師】 日本学校歯科医会 副会長 柘植 紳平 先生

### 8. 講演抄録：

「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)」は瞬く間に世界中に広がり、いつ収束するのか現在も予測もつかない事態になっている。これにより学校での子供の生活様式も一変してしまった。「密閉」「密集」「密接」のいわゆる「三密」を避ける。「ソーシャル・ディスタンス」が流行語になり、往来ではマスク着用が必須になった。非常事態宣言が出され、全ての学校が休校になり、定期歯科健康診断も延期を余儀なくされた。学校保健安全法では「定期健康診断は6月30日までに行う」と定められている。令和2年度は文部科学省から「今年度は年度内に行うことを認める」という通達が出された。令和3年度についても「可及的に6月30日までに行うことが望ましいが、状況により、年度内に行うことを認める」ということになっている

「歯みがきは飛沫が飛ぶから危険だ！」という風評が立ち、多くの学校で昼食後の歯みがきやフッ化物洗口が中止になったままになっている。結論から言うと「口の中の衛生を保つことは感染症予防に効果があり、非常に大切なので継続することが望ましい」ことをWHOや日本口腔衛生学会などが言及しているし、日本学校歯科医会でも推奨している。ただ、飛沫

が飛ぶのも事実である。従って学校での歯みがきは、できる限り口を閉じてみがき、飛沫が飛ぶのを極力抑える、三密を回避するなど感染予防の基本に気を配りながら継続することを勧めている。これについての注意事項を記載した学校向けのポスターを日本学校歯科医学会のホームページから無料でダウンロードできるのでぜひ活用いただきたい。

また、新学習指導要領による教育が平成30年に幼稚園から始まって順次、小学校、中学校と開始され、令和3年4月に高等学校でも開始された。歯科保健については『「生きる力」を育む学校での歯・口の健康づくり(令和元年度版)』が全国の公立学校に昨年配布されて、それに詳しく記述されているので十分活用して欲しい。

今回広まった学校での新しい生活様式はコロナ禍が去っても定着するものが多いと思われる。そして新学習指導要領に基づいて、私たちはどうやって歯科保健を推進していけば良いのか。それを皆様と一緒に考える機会となれば幸いである。

## 9. 講師略歴等：

つ げ しん ぺい

### **柘植 紳平** 歯科医師、歯学博士

#### 【略歴】

- 1956(昭和31)年 岐阜県恵那市生まれ
- 1981(昭和56)年 福岡県立九州歯科大学卒業
- 1983(昭和58)年 岐阜県恵那市にて開業、現在に至る
- 1984(昭和59)年～ 恵那市立中野方小学校他、保小中高の学校歯科医歴任
- 1995(平成7)年 中野方小学校が全日本良い歯の学校表彰で文部大臣賞受賞

#### 【主な役職履歴(抜粋)】

- \* 一般社団法人日本学校歯科医学会副会長(2007～2012, 2017～)
- \* 公益財団法人日本学校保健会顧問(2012～)
- \* 東海口腔衛生学会会長(2016～)
- \* 文部科学省学校歯科保健資料作成相談員(2002, 2010)
- \* 財団法人日本学校保健会副会長(2009～2012)
- \* 一般社団法人日本学校歯科医学会役員(1999～2016)
- \* 社団法人日本学校歯科医学会役員(1996～)
- \* 社団法人日本歯科医師会地域保健委員会委員(2006～2012)
- \* 日本スポーツ振興センター歯牙障害防止委員会委員(2006)
- \* 日本スポーツ振興センター業務運営委員(2010～2012)
- \* 岐阜県歯科医師会理事(1996～2009)
- \* 日本口腔衛生学会東海地方会評議員(2000～)
- \* 日本小児歯科学会地域保健委員会委員(2006～2009)
- \* 岐阜県学校保健会理事(1996～2006)
- \* 日本口腔衛生学会代議員(2015～)

## 【大学非常勤講師】

\* 九州歯科大学(2001～2013, 2015～)、愛知学院大学(2002～)、朝日大学(2002～2012)

## 【主な論文、総説(抜粋)】

- \* 学童第一大臼歯咬合面における白濁と着色の経年的推移: 口腔衛生会誌、1999
- \* 臨床に新分野を拓く再石灰化促進療法: 日本歯科評論、2000
- \* 新手法(3DS)を用いた永久歯保護育成事業: 日本歯科評論、2001
- \* 学校健診と歯科医院の診断が異なるのはなぜ?: 日本歯科評論、2003
- \* 新連載・カリオロジーの現在を読む: 歯界展望(1, 3, 5, 6, 8月号)、2006
- \* 学校歯科研修会を受講した学校歯科医のCO判定: 口腔衛生会誌、2008
- \* CO・GOとその意義: 学校保健研究、2009
- \* 「CO(要精検)」の見解の整理について: 日本学校歯科医会会誌、2010
- \* COってなに? GOってなに?: DHstyle、2010
- \* 子どもの「やりたい!」を引き出すフッ化物応用のアプローチ: 歯科衛生士2月号、2016
- \* それは健康なお口への入り口。学校歯科健康診断の紙をもらったら?: nico4月号、2016

## 【主な著書(抜粋)】

- \* 新・MI 臨床&接着修復(分担執筆): デンタルダイヤモンド社、2002
- \* 初期う蝕のマネジメント(共著): クインテッセンス出版、2004
- \* 現代の治療指針 Yearbook2003～7(共著): クインテッセンス出版、2003-7
- \* もう一步踏み込もう!! -学校歯科保健-(分担執筆): 東京臨床出版、2005
- \* 予防歯科 Yearbook2006～2007(共著): クインテッセンス出版、2006-7
- \* う蝕学(分担執筆): 永末書店、2008
- \* 歯科からアプローチする食育支援ガイド(分担執筆): 医歯薬出版、2009
- \* 学校保健の動向、平成23～28年度版(分担執筆): 日本学校保健会、2012～2016
- \* 園医・校医・小児科医のための学校保健ガイド(分担執筆): 金原出版、2015

## 令和3年度「歯科保健関係者研修会」（オンライン配信）受講申込書

勤務先名

勤務先住所

勤務先電話番号

受講申込される方についてご記入ください。

職 種	ふりがな 氏 名	受講形式 どちらかを選択してください	メールアドレス（必須）
		オンライン配信 会 場	
		オンライン配信 会 場	
		オンライン配信 会 場	
		オンライン配信 会 場	
		オンライン配信 会 場	
計	名	※感染対策として、出来るだけオンライン配信のご視聴をお願いします。 配信の視聴が難しい場合は、ご来館ください。	

**開催に変更等が生じた場合等にもご連絡致しますので、必ずメールアドレスをご記入ください。**

○申込み先

〒930-0887 富山市五福五味原2741-2

一般社団法人 富山県歯科医師会

【TEL】076-432-4466

【FAX】076-442-4013

【E-mail】post@tda8020.com

【Web】<https://www.tda8020.com>

（富山県歯科医師会のWebサイトからダウンロードできます）

○申込み締切

令和3年8月13日（金）まで